

年度末、R6年度に向けての事業計画や予算編成などで忙しい時期になりました。2～3月は会議も多く大事な情報が飛び交う時期なので、Club Newsでもしっかり抑えていきます。

また、本年度は気温の寒暖差が激しく、特に屋外スポーツを主とされているクラブにとっては教室やイベントにも影響していると伺っています。運営側の皆様もどうか心身健康に、多忙な年度末を乗り切ってくださいませ！

## ➤ 【報告】高松市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 第2回交流会



日時：2024.02.04(日)10:00～15:00  
会場：高松市国分寺橋ノ丘総合運動公園内  
体育館、屋内ゲートボール場、テニスコート

昨年度、本連絡協議会発足から初となる加盟クラブ交流会が開催され、今回で2回目の開催となりました。

橋ノ丘総合運動公園内の施設をフル活用し、キンボールスポーツ/走り方教室/的当て&ミニテニス/ティーボール/ソフトテニス/体力測定の6種目を実施。150名を超える親子が参加しました。

当日は、全てのブースを回ると駄菓子もらえるスタンプラリーも実施し、大変好評でした。

加盟クラブの皆様、準備から運営までお疲れ様でした！



## ➤ 【参考】「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」について

「健康づくりのための身体活動基準2013」が改訂され  
新たなガイドが策定されました。

厚生労働省の専門家検討会は、健康づくりのために推奨される身体活動・運動の目安となるガイドを10年ぶりに改訂しました。

ガイドでは、科学的根拠をもとに子ども、成人、高齢者、それぞれに推奨される運動強度や量が示されています。



- ・成人は1日60分(約8,000歩以上)、高齢者は1日40分(約6,000歩以上)の身体活動のほか、筋力トレーニングを週2～3日行うことが望ましい。
- ・体を動かす時間が少ない子どもは、高強度の有酸素性身体活動や筋肉・骨を強化する身体活動を週3日以上行うことが望ましい。



厚生労働省「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_inyou/kenkou/undou/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_inyou/kenkou/undou/index.html)

## 貯筋運動プロジェクト

貯筋運動とは、筋肉が衰えやすい下半身を中心とした「筋肉を貯める」トレーニング運動です。

(公財)健康・体力づくり事業財団では、全国の総合型クラブへ委託して地域の健康・体力づくりに取り組む「貯筋運動ステーション」という事業を展開しています。

香川県内ではH27年度にオリーブ100が受託したのを皮切りに、R5年度現在6クラブが受託済みで、受託後も定期活動として継続しているクラブも多くあります。

※例年3月に(公財)健康・体力づくり事業財団から、都道府県にクラブ推薦の案内が届きます。



(公財)健康・体力づくり事業財団「貯筋運動プロジェクト」  
<https://www.health-net.or.jp/tyousa/tyokin/>



【Club Newsに関するお問い合わせ先】

メール：[club-kagawaken@japan-sports.or.jp](mailto:club-kagawaken@japan-sports.or.jp)

電話：087-832-3762（県教育委員会事務局保健体育課・生涯スポーツグループ：山家）

## ➤ 【案内】 各種助成事業について

### NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド

#### ■ドコモ市民活動団体助成事業

※2024年度の募集はまだはじまっていません。(例年、2月下旬～募集開始)

【参考：2023年度の募集要項】

助成額：総額4200万円

- ①子どもの健全な育成を支援する活動……………1団体あたり上限70万円
- ②経済的困難を抱える子どもを支援する活動…1団体あたり上限100万円
- ③生物多様性の保全を推進する活動……………1団体あたり上限70万円

助成対象団体：①活動実績が2年以上ある非営利活動団体

- ※複数の団体で行う協働事業の場合は、代表申請団体が①に該当する事
- ②5名以上のメンバーで構成され、規約、事業計画書、予算・決算書が整備されており、団体が活動する地域の間支援組織（ボランティアセンターや社会福祉協議会等）からの推薦がある任意団体

助成対象期間：2023年9月1日～2024年8月31日

その他：最長3年間の継続的な助成が可能（年度ごとの申請が必要）

ドコモ市民活動団体助成事業「事業概要」

<https://www.mcfund.or.jp/jyosei/>



## 【共有】 スポーツ庁R6年度予算（案）について



■総額は約361億円。

- ① 地域スポーツ環境の総合的な整備充実：約92億円
- ② 持続可能な競技力向上体制の確立等：約156億円
- ③ スポーツの成長産業化・スポーツによる地域創生：約7億5000万円…等

■2024年パリオリンピック／パラリンピック競技大会等に向け、各競技団体が行う強化活動の支援等を内容とする競技力向上事業に102億円が計上。（対前年度当初予算比：1億円増）

■Sport in Lifeコンソーシアムの加盟団体を対象とした公募事業である「Sport in Life推進プロジェクト（スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業）」は、R6年度も実施予定。



スポーツ庁「R6年度予算(案)」

[https://www.mext.go.jp/sports/a\\_menu/kaikei/detail/1412467\\_00006.htm](https://www.mext.go.jp/sports/a_menu/kaikei/detail/1412467_00006.htm)

### 【運動部活動の地域移行等に関する予算について】

R6年度は、

- ① 地域クラブ活動への移行に向けた実証事業：約10億円（前年同）
  - ② 中学校における部活動指導員の配置支援：約15億円（前年+3億円）
  - ③ 地域における新たなスポーツ環境の構築等：約3億円（前年同）
- の約28億円が計上されています。

コーディネーターの配置を含む運営団体・実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業において先導的に取り組む地域を重点地域として指定し、政策課題への対応を推進するとしています。



香川県におけるR5年度実証事業の報告およびR6年度申請予定の市町について等は2月27日(火)に開催される「中学校部活動地域移行等推進協議会 第2回定例会」で情報共有があります。次回No.24のClub News等でクラブ関係者の皆様に共有する予定です。